

マウベシ珈琲のあるところ



取扱店 訪問記⑬

遊サリサリストアー

NPO法人さっぽろ自由学校「遊」

〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西5丁目 愛生館ビル5F 501

(最寄り駅:地下鉄「大通」駅、市電「西4丁目」駅)

TEL:011-252-6752 FAX:011-252-6751

E-mail: syu@sapporoyu.org

さっぽろ自由学校「遊」公式WEBサイト



越田さんがまだ元気だった頃、支援している東ティモールのコーヒーのフェアトレード事業の1つとして、ほっかいどうピース・トレードを立ち上げました。立ち上げ直後から、「遊」ではマウベシ珈琲の販売をしています。

当時は、事務所が愛生館ビルの2階にあって、講座をする教室も専用だったので、越田さんが教室の入り口横に小さな棚を置いて、サリサリストアと名付けました。サリサリストアという名前はフィリピンのどこにでもある小さな雑貨店のこと。タバコ1本から販売する何でも屋というような意味のようですが、サリサリストアという音がなんだか可愛くて親しみやすく、いいなと思ったのを覚えています。マウベシ珈琲の他に、これからやから仕入れて無添加のどんぶり麺やらかりんとうやらチョコレートなどのお菓子も置いていました。講座はほとんど夜なので「遊」に来るときはたいがい皆お腹が空いていて、サリサリストアでお菓子を買って分けあって食べたりもしました。

その後、事務所が6階に移り、さらに5階に移って今に至っていますが、教室は専用ではなく講座の時だけ会議室を借りる形になって、サリサリストアや販売用の本などを教室に置いておくことができなくなり、食べ物の販売はやめてマウベシ珈琲と本だけを事務所の一角に置いて売っています。

「遊」の会員にはマウベシ珈琲の根強いファンがいて、事務所移転の際、コーヒーだけは引き続き「遊」で買えるようにして欲しいという声が少なくなかったのです。写真のように可愛い籠(12~3袋入ります)に入れて、普段は事務所のスチールラックの上段に、講座の時はコーヒーの籠や本を教室の受付横に置いて売っています。たまに他の団体が主催した集会に持って行って売ることもあります。なんでもあり、「いいよいいよ」のよく言えばゆるやかな悪く言えばルーズな田舎NPOのやり方が、「遊」にもマウベシ珈琲にも合っていて、売りやすさや楽しさにつながっているような気がします。なにしろ集会では久しぶりの人たちと賑やかにおしゃべりしながら売るのですから。

「遊」では発送作業の時や会議の時などに、みんなでよくコーヒーを飲みます。「遊」でコーヒーを飲んで、マウベシ珈琲のファンになった人も少なくないと思います。ちょっとカッコつけて言えば、多彩な市民活動と人と人の出会いの傍に、いつもマウベシ珈琲がある、そんな感じでしょうか。

(細谷洋子・記)



ピース・トレード事務局だより

CHANGE YOUR COFFEE



5月はフェアトレード月間でした。6月28、29日にはフェアトレードフェスタinさっぽろ2025が開催されます。札幌はフェアトレードタウンに認定されているので、フェアトレードが静かに広がっている。。。と、思いたい。。。。

「遊」の紹介にあった越田さんというのは人権を大切に自由や命を守る市民運動を牽引し、ピース・トレードの事務局長をしていた越田清和さんのことです。亡くなって12年過ぎました。3月27日には立ち上げの時から長く理事を引き受けてくださっていた竹村泰子さんの訃報が届きました。告別式に参加しながら、今頃越田さんや理事長をしていた大岩雅子さんと大宴会をするかとも思いました。「ちゃんとやりなさいよ」という声が空から聞こえてきそうです。

できることをがんばらなくちゃ!です。(YU)